

# 地質 ニュース

NO. 54 1959-2

地質調査所

## インドネシア国 への技術 援助について



インドネシア国の地質調査所

所長 兼 子 勝

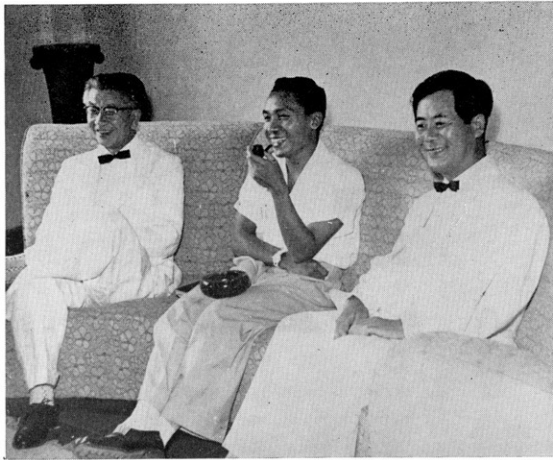
私と秋田大学教授藤岡一男氏とは、インドネシア国の要請によって、同国政府関係機関への技術援助およびアジア極東鉱産図の作成・バンドン大学での講議などのために、コロンボ・プランの費用で昨年10月4日から2か月間ジャワへ派遣を命ぜられました。各種の問題が山積していたため、イ国側の要望で滞在期間が半月ほど延長となりました。

また、同国のラヌクスモ地質調査所長からは、地質調査所の拡充について、次頁に示すような諮問をうけ、これについての具体的な意見を求められました。同所の今後の発展とわが国からの協力に関しましては、大いに責任がありますので、広く皆様のご意見もうかがわせていただきたいと思います。何とぞ、お力添えのほどをお願いいたします。

なお、詳しい報告はいずれ関係機関の許しを得てから、その他の記事とあわせて逐次発表したいと考えております。

### 目次

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| ① インドネシア国への技術援助について……………1 | ④ 天然蒸気を探る……………3          |
| ② 石炭の組織……………6             | ⑤ ガスクロマトグラフィー分析装置……………10 |
| ③ 地質調査所の標本(その7)水晶……………13  |                          |



向つて左から 兼子所長 ラヌクスモ所長 藤岡教授の各氏

### インドネシア地質調査所についての兼子・藤岡両博士への諮問事項

#### 1. インドネシア地質調査所の仕事の計画について

##### (1) 組織

- イ. 活動の種類と区分について
- ロ. 専門家(初級・中級・上級)の必要人員について
- ハ. 各地へ支所を設置することについて
- ニ. 探査隊・観測所・研究室などについて

##### (2) 研究室

- イ. 研究室の種類について
- ロ. 必要な設備について
- ハ. 必要な技術者について
- ニ. 工作場・修理工場などについて

##### (3) 探査

- イ. 本所で行うものについて
- ロ. 支所で行うものについて

#### (4) 法律の制定

- イ. 鉱物資源の保護管理についてのもの
- ロ. 石油・ガスならびにその関係鉱物についてのもの
- ハ. その他 たとえば 化石 地質学的に重要な場所 地下水 温泉などについてのもの

#### 2. 計画を完成する道筋方法および取得すべきものについて

##### (1) 専門家・技術者

- イ. 外国専門家の招請について
  - 高級者
  - 中級者
- ロ. インドネシア人の養成について
  - 高級者
  - 中級者
  - 初級者

##### (2) 設備(運搬機材を含む)

- イ. 地質調査用のもの
- ロ. 室内実験や研究用のもの
- ハ. 教育目的用のもの
- ニ. 一般知識用(博物館)のもの

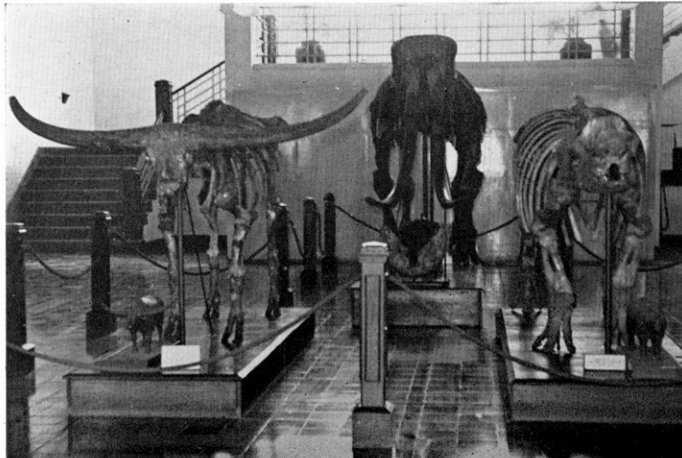
#### 3. インドネシヤ地質調査所のその他の事業について

##### (1) インドネシアの一般地質図の完成について

500万分の1 200万分の1 50万分の1  
25万分の1 10万分の1 の地質図

##### (2) 適宜な縮尺によるインドネシア鉱産図の完成について

##### (3) インドネシア石油地質図の完成について



インドネシア地質調査所の陳列館の一部



バンドン市街